

臨床研究
「院内血管アクセスデバイスの留置実態と安全管理に関する検討」
についての情報公開

末梢挿入型中心静脈カテーテル (Peripherally Inserted Central Venous Catheter : PICC)、中心静脈カテーテル (Central Venous Catheter : CVC)、皮下埋め込み型中心静脈ポート (Totally Implantable Central Venous Access Port : CV ポート)、ブラッドアクセス等の血管アクセスデバイスは、静脈栄養、薬剤投与、血液浄化療法等に広く使用されています。一方、挿入・留置・使用に伴い、カテーテル先端位置異常、閉塞、血栓、感染、破損等の合併症が生じる可能性があります。

そこで、当院における血管アクセスデバイスの挿入・留置・使用・管理の実態を把握し、より安全な血管アクセス管理について検討するため、以下の観察研究を実施します。

研究期間：倫理委員会承認後～2027 年 9 月 30 日

研究対象：2023 年 11 月 1 日～2026 年 7 月 31 日に当院で血管アクセスデバイスを挿入、留置または使用した患者

方法：対象期間の診療録および血管アクセスデバイスの挿入・留置・管理に関する業務記録を用いて、研究対象者の背景、使用目的、デバイスの種類、挿入部位・挿入方法・挿入手技、カテーテル先端位置およびその変化、挿入・留置・使用中のトラブル、機能評価、感染、血栓、閉塞、破損等の合併症、留置期間、抜去理由、転帰等について後方視的に調査します。

研究・解析に使用するデータは、氏名、患者 ID など個人を直接特定できる情報を削除または研究用番号に置き換えて取り扱い、研究結果を学会、研究会、学術論文等で公表する場合にも、個人が特定されることはありません。

本研究は既存の診療情報を用いる研究であり、研究のために新たな検査や処置を行うことはありません。また、本研究への情報利用を希望されない場合には、研究対象から除外します。研究への協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を受けることはありません。

研究に関するお問い合わせ、ご意見、研究への情報利用を希望されない場合は、下記の研究責任者までご連絡ください。

研究代表者：

独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院
看護部 看護部長室 看護師 岡崎 由佳利
TEL 022-275-1111, FAX 022-275-7541
〒981-8563 仙台市青葉区台原4丁目3-21